

開催日時:平成27年12月5日(土)09:30～17:00 平成27年12月6日(日) 09:30～15:30  
 開催場所:東濃地震科学研究所 1Fセミナールーム

第1日目(12月5日(土))

時間	話題提供者	所属先 会場の設営など	話題提供の題目など
09:30～10:30			
10:30～10:45	研究委員会からの連絡	東濃地震科学研究所	趣旨説明、招待講演者および委員紹介
10:45～11:15	鈴木 光	減災アトリ／工学院大学客員研究員	平面と立体で地域のリスクを我がごと！事例紹介「myマップ」&「段ボールジオラマ」
11:15～11:45	上園 智美	日本ミクニヤ(株)環境防災部 名大・減災連携研究センター 研究員	児童・学生への防災教育活動報告
11:45～13:00	昼食	—	(希望者のみ:弁当屋さんから配達された弁当を用意します。)
13:00～14:15	招待講演:多賀直恒	至誠館大学	地域学からの発想と提言～災害を見て地域を見直す～
14:15～14:45	小山真紀	岐阜大学	大学における防災に貢献する人材育成の取り組み
14:45～15:15	能島 暢呂	岐阜大学	-京都大学安寧の都市ユニットと世界展開力強化事業の事例から-
15:15～15:30	休憩	—	東日本大震災における鉄道運休と震度分布との関係の確率・統計的分析
15:30～16:00	崔 明姫(オブザーバー)	立命館大学歴史都市防災研究所 専門研究員	地震津波災害における経済的被害と復興シミュレーションに関する研究
16:00～16:30	太田 裕	東濃地震科学研究所	～南海トラフ地震における志摩市の被害を事例として～
16:30～17:00	志垣 智子(オブザーバー)	(社会福祉法人)敬友会高齢者住宅研究所	地震(津波)外力に伴う死者の年齢別特性
17:00	終了		人口動態統計を用いた震災死亡リスク評価

第2日目(12月6日(日))

9:30～09:45	研究委員会からの連絡	東濃地震科学研究所	本日の研究会の進め方について
09:45～11:00	招待講演:豊田祐輔	立命館大学政策科学部	リスク・コミュニケーション手法としてのゲーミング・シミュレーション
11:00～11:30	村上ひとみ	山口大学	阪神・淡路大震災の消防救助記録データベース活用案再考
11:30～12:00	宇治田 和	ランドブレイン(株)	訓練企画におけるフィードバック・まちづくりへの展開事例
12:00～13:30	昼食	—	(希望者のみ:弁当屋さんから配達された弁当を用意します。)
13:30～14:00	小川雄二郎	東大生産研究所 研究員	海外における避難関係文献・資料の収集・分析
14:00～14:30	谷口仁士	東濃地震科学研究所	震災遺構からのメッセージは生かされているのか?～三重県に遺された津波碑について～
14:30～15:30	討議	東濃地震科学研究所	今年度の報告書作成および2016年度研究委員会の計画について
15:30	終了		会場の片付け